

## お茶大での交換留学

大連理工大学

シン シュンケン

学籍番号 k2490058

月日が経つのは早いものです。お茶の水女子大学で過ごした交換留学の四ヶ月はあっという間に過ぎ去り、忘れがたい思い出がたくさん残りました。

今学期、私は留学生特別科目を三つ、正規科目を五つ履修しました。留学生特別科目の一つ、李址遠先生の「日本文化ⅤB」は、文化人類学の視点から日本文化をわかりやすく分析するものでした。朝の一限目の授業なので、時々眠くなることもありましたが、李先生の情熱に満ちた声がいつも私を元気づけてくれました。荻原先生の「日本文化ⅢB」では、自分が将来やりたいことについて考えさせられました。日本の企業や職場についての理解も深まり、たいへん勉強になりました。

正規科目では、土山先生の「データサイエンス基礎」を受講しました。少し難しい内容でしたが、先生が丁寧に教えてくださったおかげで、少しずつ理解を深めることができました。また、橋本先生の「ボディコンディショニング」というスポーツの授業も印象に残っています。それは、体の感覚を絵で表現し、運動で体の各部分のつながりを探るという、独特で興味深い授業でした。

暇な時に、地下鉄や電車に乗って東京を散策するのが好きです。多摩川の花火大会、小石川後樂園の紅葉、江の島の夕日など、四季折々の風景

が忘れられない思い出となりました。また、駅のスタンプを集めるのもとても楽しく、駅ごとにオリジナルのスタンプがあることを通して、日本の鉄道文化の豊かさに驚かされました。

最も印象に残る経験は、神社でのアルバイトでした。神道に興味があったので、正月期間の巫女助勤に応募しました。初めてのアルバイトなので、とても



緊張しましたが、宮司さんはとても親切で、温かく受け入れてくださり、先輩たちも丁寧に指導してくださいました。お正月の間はとても忙しく大変でしたが、人々の幸せな笑顔を見て、「ありがとうございます」という言葉を聞くと、やる気が湧いてきて、この仕事の意義を強く感じました。それに、宮司さんから神道に関する知識を学び、日本文化への理解を深めました。

続いて、今学期に出会った先生方やクラスメートに感謝の気持ちを伝えたいと思います。指導教官の土山先生は毎月私の振り返りシートを読み、温かい返信をくださいました。チューターの丸山さんは日本の生活について貴重な情報を提供して下さり、大変助かりました。国際教育センターAAのおかげで、面白い文化教室に参加できました。また、国際科の先生方と職員方や留学生のクラスメートたち、皆さんのおかげで素晴らしい一学期を過ごすことができました。どうもありがとうございました。



最後に、「一期一会」という言葉で私の留学生生活を締めくくりたいと思います。人々や景色との出会いを通じて、留学の楽しみを実感し、挑戦に立ち向かいました。そしてその絆と成長を大切に、人生の可能性を広げようと思います。